

第1・2学年 学級活動（2）学習指導案

日時 平成25年12月3日（火）

指導者 仙台市立荒浜小学校

教諭 大内恵美（1年担任）

教諭 曾根郁子（2年担任）

場所 1年1組教室

- 1 題材 ぼくの わたしの ひじょうもちだしぶくろ
- 2 児童の実態と題材設定の理由

一部 省略

本校独自に設けた1・2年合同の防災教育（10時間・特別活動）では、1学期に、校舎内でも使い方によっては危険が生じる箇所を地図にまとめる学習「あぶないよ map」を行った。2学期は校舎内の安全設備と備蓄倉庫を学習し、なぜ学校が避難所として使われるかの秘密に迫る。この「がっこうのあんしん」で学習した備蓄倉庫にあったものを参考にして、本時の「ひじょうもちだしぶくろ」につなげていきたい。学校と家庭といった違いはあるものの、人間が生きていく上で必要なものには変わりはないことを理解させていく。それだけではなく、家族構成、住んでいる場所、健康状態などによっても中身は変わってくることに気付かせ、自分の家庭に合った非常持ち出し袋の中身を低学年なりに考えさせることは、意義のあることだと考える。

児童の話によると非常持ち出し袋を用意している家庭はないようである。この学習を児童が各家庭で話すことで、家庭でも用意しようという働き掛けにつながることを願う。

3 研究との関連

研究テーマ

自他の「いのち」を大切にしようとする子供の育成
～防災教育を通して～

学年部のねらい

危険を予測し、自分の身を自分で守ろうとする子供の育成。

視点と学年部の手立て

(1) 「いのち」を大切にしたいという思いや考えを持たせるための教材の工夫

- ・アンケートや聞き取り調査で、子供の実態を把握し、子供の生活に密着した題材を選択する。

(2) 「いのち」を大切にしようとして協力して行動させるための単元構想の工夫

- ・いろいろな教育活動と関連を持たせ、活動と振り返りをバランスよく組み入れる。
- ・分かりやすいように実物や絵などを使って、課題を提示する。

(3) 防災教育カリキュラムの改善

- ・変化する児童の実態を踏まえて、教科の枠にとらわれない幅広い視点で見直しをする。

視点（1）教材の工夫について

家庭の状況は様々であるが、自分や自分の家族のことを考えて非常持ち出し袋の中身を考える学習は、児童の生活に身近な題材といえる。これまでの研究授業の成果と課題としても取り上げられてきたが、どの児童もできるだけ同じ土俵で学習ができる題材を選択したかった。非常持ち出し袋はどの家庭でも準備しておいた方がよいものであり、家族がそれぞれの立場で考えていきたいものである。低学年は恥ずかしがらずに自分の家族が大好きだという気持ちを表現する。その特徴を生かして、非常持ち出し袋の中身を、2年生には自分の家庭に適したものを、1年生にはまず自分に合ったものを考えさせていきたい。

視点（2）単元構想の工夫について

10時間（特別活動）を3つのブロックで構成した。1次は校舎内の「あぶないよ map」作り。2次は校舎内や家庭での非常時の備蓄を「がっこうのあんしん・おうちのあんしん」と題して学習する。本時は2次のまとめの学習にあたる。低学年にとっては難しくなりがちな防災教育であるが、一連の流れの中でつながりを持って学習することで、自信を持って自分の考えを表現したり、友達と協調して進めたりすることができると思われる。

できるだけ実物を見たり触ったりできる活動を取り入れ「いのちを守る」ために必要なことを本気で考えさせたい。本時では、非常持ち出し袋に入れるもののサンプルとして実物を提示する。また、一人一人が選択したもののカードは、文字がなくても一目で何か分かるように、実物を写真に撮って作りたい。このように工夫することで、文字に不慣れな1年生も抵抗なく授業に取り組めると考えた。2年生についても、実物をイメージして構成しやすく、意欲を持って活動できると思われる。

また、「防災ダック」の行動を毎時間の授業や朝・帰りの会にも取り入れ、非常時の対応を習慣化させてきた。非常時に自分で自分の身を守る児童にしたい。

視点（3）カリキュラムの改善について

年度当初1・2年生は「特色ある活動」で授業を行う予定であったが、内容を検討して「特別活動」で行うことにした。（35時間外）

また、「新防災教育副読本」の年間指導計画を作成したので、随時活動に取り入れていきたい。

防災への意識が違う1年生と2年生だが、どちらの学年にもふさわしい課題を設定して学習を進めたい。ただし、生活科や通常の特別活動における防災教育は、学年ごとに行なうことを基本とする。

3 学級活動（2）の評価規準と目指す児童の姿

（1）本校の評価規準

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活について の知識・理解
評価規準	自己の身の回りの問題に関心を持ち、進んで日常生活や学習に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。

（2）目指す児童の姿

学年	1年	2年
具体の評価規準	自分なりに非常持ち出し袋の中身を考えることができる。	自分や家族に合った非常持ち出し袋の中身を考えることができる。
十分満足できる状況	友達の発表を聞いて、その良さに気付く。	友達の発表を聞いて、その良さに気付き、自分のこれからの生活に生かそうとする。
Cへの手立て	非常持ち出し袋に何を入れるか選択できずにいる児童には、学校の備蓄倉庫にあったものを思い出させる。	

4 活動と指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	・ 備蓄庫を見学し、そこにあるものとその使い方を知る。(2時間) [特別活動]	11月19日21日	・ 学校が避難所になっているので、避難したときに困らないように、備蓄庫があることを理解させる。 ・ 備蓄庫には、非常時の生活に役立つものがあることを知らせる。 ・ 教室の非常持ち出し袋の中身を確認する。	1年 備蓄庫にたくさんのものがあることを理解する。 2年 備蓄庫にたくさんのものがあり、それが非常時に役に立つことを理解する。 (知識・理解) [観察・カード]
	・ 自分の家の非常持ち出し袋の中身を知る [家庭での課題]		・ 家庭に非常持ち出し袋があるか、何が入っているかを聞いてくるように指示する。 ・ 担任が、個別に確認する。	
本時	・ 自分や自分の家庭に合った非常持ち出し袋の中身を考える。(1時間) [特別活動]	12月3日	・ 前時で学習した備蓄庫に入っていたものを想起させて、我が家の非常持ち出し袋に入れたいものを五つ選ばせる。 ・ サンプルにないものは、メモに書いて貼らせる。	1年 自分なりに非常持ち出し袋の中身を考えることができる。 2年 自分や家族に合った非常持ち出し袋の中身を考えることができる。 (思考・判断・実践) [観察・発表]
事後	・ 自分の考えた非常持ち出し袋について保護者の考えも聞く。(1時間) [特別活動]	12月7日	・ 授業参観日に、1・2年生合同で授業を行う。前時で選んだものの中から(変更してもよい)1番のお勧めを発表し、保護者の意見ももらう。保護者にサンプルも見てもらい、家庭への働き掛けを図る。 ・ 防災副読本「ぼうさいリュックを用いしよう」を活用して、非常持ち出し袋に何を入れたらいいか確認する。	1年 家族の前でしっかり発表したり、家族の考えもしっかり聞いたりすることができる。 2年 家族の前でしっかり発表したり、大人の考えを聞いて自分の考えに役立てることができる。

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で、非常持ち出し袋の中身を考えてくる。 <p>[家庭での課題] [朝の会・帰りの会]</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で話し合っ、防災副読本の「ぼうさいリュックを用いしよう」のページに書き込みをしてくる。 ・何を書いたか担任が個別に対応した後、全体で確認する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・非常食を調理し試食する。(1時間) <p>[生活科]</p>	<p>12月20日 弁当の日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で使用したサンプルの缶詰やレトルト食品、1年生が生活科で作った野菜の保存食などを試食させる。 ・2年生のリードで楽しい雰囲気での会食になるように支援する。 ・家庭で非常食や非常持ち出し袋の話をしたときの家族の反応などを聞いてみる。(深入りしないようにしたい。) 	<p>1年 自分たちが作って乾燥・冷凍させておいた保存食の調理を、2年生の言うことを参考にして楽しく行う。</p> <p>2年 サンプルや缶詰、非常食の調理や試食を、1年生をリードして楽しい雰囲気で行おうとする。</p> <p>(<u>関心・意欲・態度</u>) [観察・カード]</p>

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

1年 自分なりに「非常持ち出し袋」の中身を考えることができる。

2年 自分や家族に合った「非常持ち出し袋」の中身を考えることができる。

(2) 本時の展開

過程	主な学習活動	主な指導・支援	目指す児童の姿 評価方法
導入 (5)	1 「防災ダック」ゲームをする。 2 前時の学習を振り返って、備蓄庫にあったものを思い出す。 3 課題を知り、考える。	緊張を解きほぐしながら、非常時の行動の習慣化を図る。 前時の写真を見せ、思い出させる。	
展開 (30)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ぼくの、わたしの「ひじょうもちだしぶくろ」をつくろう。 </div> (1) 非常持ち出し袋に入りたいものを考える。 ・自分で入れたいと思うものを発表する。 ・サンプルを見る。 ・入れたいものを五つ選択する。	備蓄庫にあったものを参考にさせる。 また、食べ物、暗いときに使うもの、水などこれまでの経験からも考えさせる。 思いつくままに発表させたい。 サンプルを見て、普段教室に置いてある非常持ち出し袋に入っているものや、それ以外のものの種類や使い方を知る。 サンプルを見ながら、横に置いてあるカード(マグネット付き)を五つ選び、自分のホワイトボードに貼らせる。 サンプル以外のものを入れたい児童には、何も書いていないカードにペンで書いて貼るように指示する。 教師も側にいて、使い方などを聞いて	

<p>終末 (10)</p>	<p>(2) 発表する。 ・選んだものと選んだ理由を一人ずつ発表する。</p> <p>4 まとめをする。 ・友達の発表を聞いて感想や、今日の学習でわかったことを言う。</p> <p>・教員（数名）の考えを聞く。</p> <p>・次時の説明を聞く。</p>	<p>くる児童にはその都度説明やアドバイスをする。 1年生・・・自分が使うことを想定して選ばせたい。 2年生・・・家族が使うことも考えさせたい。</p> <p>ホワイトボードをみんなに見せながら発表させる。理由が言えない児童にも最低一つは理由を言わせるように助言したい。</p> <p>自分は選ばなかったが、友達を選んだものの良さに気付かせたい。 家庭によって、非常持ち出し袋の中身は変わってくることを、できれば児童自身に気付かせたい。 自分を守るために選んだものは人によって違い、これが1番というものはないことを確認する。</p> <p>児童が選ばないようなものを答え、児童にはない視点を補いたい。 (菓、紙おむつ、ロープなど)</p> <p>次時は、サンプルの非常食や手作りの保存食を試食することを伝える。 次時への意欲を持たせることで、家庭への働き掛けにつなげてほしい。</p>	<p>1年 自分なりに非常持ち出し袋の中身を考えることができる。</p> <p>2年 自分や家族に合った非常持ち出し袋の中身を考えることができる。</p> <p>(思考・判断・実践) [観察・発表]</p>
--------------------	---	--	---

(4) 板書計画

<p>ぼくの わたしの 「ひじょうもちだしぶくろ」をつくろう。</p> <p>どんなものを 入れたい？ みず あめ かいちゅうでんとう ゲーム ぬいぐるみ きるもの たべもの ふでばこ</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin: 5px;"></div> </div> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin: 5px;"></div> </div> <p>いのちをまもるために みんなが必要なもの（水、たべもの） それぞれが必要なもの</p>
--	--